



い～ねだより

2022年6月1日

認定NPO法人じゃんけんぽん

企業主導型保育 い～ね保育園

基本理念

『たくましく生きる力』

保育目標

『自ら感じ考え自分と周りの人を大切にする心を育てます』

『基本的生活習慣を身につけ、心身ともに調和のとれた幼児を育てます』

『地域の人とのかかわりやふれあいを大切に、かけがえのないつながりを創っていきます』

『一人ひとりの子どもを十分に愛し、子どもの個性を受け止め、伸ばしていきます』

6月のテーマ

『水たまりさんとおともだち』

t

◎まねっこのパワー

新年度になり新しいお友達、新しい場所にも、柔軟にたくましく慣れていく子供たちの力に驚かされる毎日です。

園での生活は、異年齢保育での関わりの中、大きい子やお友達の真似をする姿が多くみられます。お家での兄弟姉妹間で見られるような【同じことをしたい】【あこがれ】の気持ちで、知らず知らずのうちに【挑戦】【いたずら】【まねっこ】など成長のお手本になっています。

まねっこの1つとして言葉の習得があります。

気持ちを表現する方法は色々ありますよね。・・・例えば嫌なことがあった時・・・

・言葉で伝える・泣く・手が出る・大きい声・だだをこねる など どれも困ってしまいますよね。

そんな時は「やだ---」「だめ---」だけでなく「もっと使いたいからやだよ」「まだ使いたいから待ってね」「大好きだからダメよ」とか伝え方を何度も何度も話していく事で、いずれ本心をお友達に伝えられ、お友達の気持ちも理解できる一歩になると思います。言葉で伝えられないお友だちには保育士が前後の行動を見て代弁しながら会話を繰り返すと、(そうそうそれ！)と表情や動作で応えてくれることもあります。自分のことをわかってくれるという信頼が積み重なり、やがて自分でも言葉を覚え気持ちを伝えられるようになっていきます。また、上の年齢の子も伸び伸びと暮らす中でも、下の子たちとの関わりで、【見守る】【譲る】【教える】ことなどを身につけながら、ときに保育士の言動をまねっこする様子も見られます。

